

北の子

浜岡北小学校だより 2019年度 12月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」いっぱいの子

＜重点目標＞

みんなで考え みんなで伸びる

次年度に向けて必要なことは

先月、2年生の児童個票の紛失という不祥事を起こしてしまったことにつきまして、お詫び申し上げます。現在再発防止のための具体策を実践し、信頼回復に努めているところです。

さて、少し早いように思えるかもしれませんが、次年度の教育目標や様々な活動の計画を考える時期になりました。そこで、主に以下の3点に配慮した改革・改善に取り組みたいと考えています。

1 新学習指導要領への対応

「学習指導要領」とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育が受けられるようにするため、文部科学省が法に基づき、各学校で教育課程を編成する際の基準を定めたものです。およそ10年に一度改定され、次は令和2年度から小学校で完全実施されます。「情報化、グローバル化の加速度的進展」や「人工知能(AI)の飛躍的進化」にみられる急激な社会的な変化の中では、「**予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育むこと**」が重要です。そして、育成を目指す資質・能力の三本柱は「**生きて働く知識及び技能の習得**」「**未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力**」「**学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性**」です。学ぶ内容では、**3・4年生の外国語活動の充実**や**5・6年生の外国語科の新設**があり、学び方は「**主体的・対話的で深い学び**」の視点で**授業改善**を行います。そこで、以下のように**授業時間が増加**します。

① 外国語関係の授業時間…3・4年	25時間（本年度）→35時間（次年度）	①②の合計 ↓
5・6年	60時間（本年度）→70時間（次年度）	
② 総合的な学習の時間 …3～6年	55時間（本年度）→70時間（次年度）	35時間増
③ 新しい教育や教科書に対応するための教材研究、授業計画・準備の時間		(3～6年)

2 異常気象への対応

暑い日が増える中、**子どもたちの健康を守る**ため、本年度は以下のような取組を行いました。

- ・登下校時のヘルメット・帽子着用の選択制（8・9月）→1・2割の子が帽子を選択
- ・「暑さ指数」による夏休み中のプール開放中止の基準設定→結果として高温のため、全日程中止

次年度に向けては、例えば以下のようなことがすでに決定されていたり、今後職員でまたはPTAと協議をして決めたりしていきます。

- ・夏休み中のプール開放を行わない→本年度PTA常任理事会で決定済
- ・登下校時のヘルメット・帽子着用の選択期間の延長
- ・体操服の変更（速乾性のものに）
- ・運動会の開催時間や運動会に向けた練習時間の短縮

3 教職員の働き方改革

報道などで御存じだと思いますが、教師の異常なまでの長時間勤務が問題視されており、法律でも以下のように次年度以降の時間外勤務時間の上限が定められました。

月45時間以内 年間360時間以内（月平均に換算すると30時間以内）

本校では本年度、校長・教頭・教務・担任のうち実現できているのが10人中2人のみですが、教師が疲弊しては、生き生きと子どもたちに接することができません。また、取り組むことが多すぎると、様々な活動が中途半端に終わってしまいます。しかも次年度に3年生以上の授業時数が増える中では、**精選が必要不可欠**です。**特に子どもに関わる時間の確保と充実した授業を行うための教材研究や授業準備時間の確保を最優先した教育課程**を考えていきます。例えば、現在は試験的に週1日「休み時間の短縮+掃除時間カット」を行っていますが、このような日課の工夫にも取り組んでいきます。

これらの改革・改善に向けて、保護者の皆様の御理解・御協力をよろしく申し上げます。

(校長 北原 弘明)

